



国際ロータリー2620地区  
長泉ロータリークラブ

週報



発行/会長:鈴木 真雄 幹事:市川 明宏  
例会/毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場/財米山記念館ホール  
事務局:〒411-0941

静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1



TEL・FAX: (055) 988 - 3070

E-mail:n-jimu@nagaizumi.com

<https://www.nagaizumi.com/>



財団法人 米山記念館外觀

第1811回 例会 2024.3.6 wed

2024-2025年度

ガバナー補佐卓話 渡辺 富夫君

長泉ロータリークラブ 会長あいさつ  
会長 鈴木 真雄 MASAO SUZUKI



本日の例会では、先日、静岡新聞朝刊に「成年後見制度の見直し・柔軟運用目指し期間制も」との記事が掲載されていましたので、同制度の見直しについて、お話しさせていただきたいと思っております。厚生労働省によりますと、認知症患者は2025年に730万人と65歳以上の5人に1人を占め、50年には1000万人を超える見通しとのことです。成年後見制度は、認知症、知的障害、精神障害などによって判断能力が十分でない方を保護するための制度として、2000年にスタートした支援制度です。本制度は数年前から実際に使用している方から様々な問題点が指摘されており、制度開始から20年経った今、具体的な改善点について、法改正の動きが出てきています。成年後見制度について、どのような改善点が議論・検討されているのか見ていきたいと思っております。大きく分けて3つあります。まず、1つ目は本人にとって適切な時期に必要な範囲・期間で利用できるようにすること。2つ目は終身ではなく有期(更新)の制度として見直しの機会を付与すること。3つ目として本人が必要とする身上保護や意思決定支援の内容やその変化に応じ後見人を円滑に交代できるようにすることなどが検討の対象です。社会の高齢化が高まる一方で、一度後見人が決まると終了・交代が難しく、使い勝手がよくないとの指摘があり、後見制度の利用を躊躇する方もいますので、後見人の期間制の導入など柔軟な運用を論点に議論する、としています。法務省によりますと22年10月時点で65歳以上は約3600万人。認知症の人だけで数百万人いるとされていますが、成年後見の利用者は22年末時点で、約24万5千人にとどまっています。これらの主な理由としては、現行では後見制度を利用すると事実上亡くなるまで中止できないことや弁護士等の専門職には報酬の支払いが必要で「負担が重い」との声があります。報酬額について、家庭裁判所のホームページを見ますと、通常の後見事務を行った場合の基本報酬は月額2万円が財産管理額に応じて月額3万円~6万円とされています。一定期間や、相続の取り決めなどライフイベントの完了時点で利用を終了できる仕組みの導入や、また、遠方への転

居や、資産を使い込まれたなど、限られた理由でのみ後見人の辞任・解任を認める現行ルールの内り方も論点としています。身の回りの世話が必要になったので、弁護士などから福祉関係者に引き継ぐなど、交代を柔軟に認める是非を探っていく、としています。今後の改正手続きでは、専門家会議での検討による報告書は2024年にまとめる予定なので、そこから法制審議会で議論した後、具体的な改正案は2026年度ごろになるそうです。一日も早い本人、家族に寄り添った柔軟に対応できる制度が求められていると思います。

【3月の会員慶事】

(誕生日) 増田 誠君  
(結婚記念日) 市川 明宏君  
おめでとうございます!



幹事報告

【直近プログラム内容】

- 3/13(水) 次年度会長・幹事  
次年度役員関係説明  
※理事会(3/27変更)
- 3/20(水) 祝日休会
- 3/27(水) PETS報告  
長泉町奨学生 来訪

幹事  
市川 明宏

【千歳CRC訪問】

5/17(金)・18(土) 植樹

会員総数	出席計算に 用いた会員数	出席	出席率
24名	22名	18名	86.36%

出席免除会員欠 2名 MU 1名

# 静岡第2グループ 2024-2025年度ガバナー補佐卓話 渡邊 富夫 君



私は次年度静岡第2グループのガバナー補佐を務めさせていただきますが、これは私一人では到底務まるものではありませんので、2025年2月16日に開催します第2グループのIMも含めて長泉RC全員のご協力をよろしくお願いたします。IMのメインテーマは「米山梅吉記念館と共に」とさせていただきます、グループ内のロータリアンに記念館のことを理解していただく機会としたいと考えております。同時に年度を通したガバナー補佐の方針としても、静岡第2グループ全クラブが「米山梅吉

記念館と共に」あるとの認識を持って頂けるようにグループ内各クラブに対して年度内に1度は記念館を移動例会場として利用してもらうこと、春と秋の記念館の例祭にはより多くの会員が出席してもらうように働きかける、各クラブの周年事業には記念館への支援も織込んでもらうことなどを各クラブの会長幹事をお願いしたいと考えております。

RI理事会にて決定して次年度以降のクラブ運営に係ることを2点ほど紹介します。今までロータリーの事業は単年度にて完結するようにはしてきましたが、2024-25年度からクラブ及び地区において3年間の目標と計画を立て、年度ごとにその進捗状況を見直していくことになりました。また、2025-26年度からRI会長の年次テーマとロゴの作成を廃止することになりました。

不易流行という言葉がありますが、ロータリーでもいつまでも変化しない本質的なものは忘れない中にも、これからは新しい時代に合わせて変化を重ねていく必要があるように思います。



## Smile スマイル報告

- ・三枝 徳造 君  
1991年(平成3年)7月1日、第310回の例会時に入会。  
2024年(令和6年)2月28日、第1810回の例会に出席。  
通算1500回を100%出席で迎えました。
- ・杉山 弘年 君  
申し訳御座いませんが、本日早退させていただきます。
- ・前島 大一 君  
もうすぐ桜も咲きますね！
- ・西原 重夫 君  
すみません。早退させていただきます。
- ・市川 明宏 君  
毎日に感謝してます

